

令和7年 四・秋冬番茶情勢について

令和7年10月6日現在
J A静岡経済連 茶業課

1 気象状況

- (1) 気温は、8月から9月にかけて平年より2℃前後高く推移しました。
(2) 降水量は、9月上旬～中旬は平年より多く、下旬は少なくなりました。

(アメダス菊川牧之原)

時 期	平均気温 (℃)		降水量 (mm)		日照時間 (時間)	
	本 年	平年差	本 年	平年差	本 年	平年差
8 月	27.5	+1.8	31.5	▲149.5	254.6	+37.9
9 月	25.3	+2.6	350.5	+77.7	201.5	+42.7

2 生産状況

- (1) 10月上旬から生産を開始する工場が徐々に増えて来ましたが、まだ本格的な生産に入っていない状況です。10日頃から全域で開始される見込みです。
(2) 秋芽は伸び始めていますが、土台となる三番茶芽の生育抑制が見られ、現時点の反収は例年より少ない状況です。数量確保のため生産を遅らせていますが、三番茶芽の伸び不足が反収に影響しています。
(3) 摘採時期や摘採位置の注意など、翌年一番茶への影響を考慮した生産を呼び掛けています。

3 流通状況

- (1) 生産工場が出揃っていないことから流通量は少なく、引き合いは強い状況です。
(2) 現在の取引価格は、1,300円台から1,400円程度で、(株)静岡茶市場の入札では、番茶1,400円～1,500円程度、てん茶3,500円程度、出物350円～600円程度となっており、出物を含め過去に例のない価格で取引されています。入札での取引価格は、相対取引の基準となっています。
(3) てん茶の引き合いは番茶以上で、生産要望も多いことから積極的な生産を呼び掛けています。
(4) 価格が高騰しているものの、数量確保に動く茶商が多いことから、この状況は今後も続く見込みです。

4 その他

- (1) J Aグループでは秋冬番茶期の日曜販売を中止していますが、地域によっては日曜休日の他、隔日販売を実施するなど、物流も含め効率的な販売に取り組んでいます。

5 静岡茶市場の取扱状況

※茶市場近似累計数量対比(10/6現在)

(単位: kg・円・%)

項目		令和7年		月日	令和6年		前年比	
		数 量	単 価		数 量	単 価	単価比	単価差
静岡	県内産	49,625	1,413	10/1	49,812	337	419.3	+1,076
	(内入札)	11,784	1,519	—	—	—	—	—

(株)静岡茶市場情報(10月6日現在)

県内産秋冬番茶は、中部地区(静岡・清水)と西部地区の早場所から入荷があり今週中には産地の顔ぶれが出揃う見込みです。西部地区の減産予測の中、価格は1,300～1,500円/kgと引き合いの強い状況が続いています。

以 上